

プラスチック再資源化の現状と問題

第19回中国国際プラスチックリサイクルサミットフォーラムに参加して

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

2024年9月26日、27日と二日間にわたり、中国広東省で「第19回中国国際プラスチックリサイクル会議および展示会ならびに家電・自動車プラスチックリサイクルサミットフォーラム」が開催された。参加者は中国国内で事業を行っている、解体事業者、再生プラスチック事業者、改質プラスチック事業者、エンドユーザー企業である。この会議に招待されて講演したのだが、再生プラスチックの強度やプロセスに高い関心が寄せられた。

日本では、2022年4月に再生プラスチックに関する新法が施行され、再生プラスチック市場が過熱化し、バージン材よりも高い再生プラスチックが登場している。中国は、日本市場よりも早く再生プラスチックの市場が立ち上がっており、2010年には専用の市場が温州はじめ数か所に設置されていた。メカニカルリサイクル分野では、中国はトップランナーである。本セミナーでは、このフォーラムの内容を基に、再生プラスチックを導入する時に必要な品質管理技術から、再生プラスチックを利用し独自のポリマーアロイを開発する時に必要な技術まで基礎から最新技術まで解説する。

なお、DXの進展を踏まえ、データサイエンスやAIに関する話題も本セミナーでは取り上げ、単なる再生技術の紹介だけでなく、研究開発のヒントまで講師の開発事例を用いて詳しく解説する。

【講師経歴】1977年3月名古屋大学工学部合成化学科卒業、1979年3月同大学院工学研究科応用化学専攻博士課程前期修了、1983年4月科学技術庁無機材料研究所留学（1984年10月まで）、1992年9月学位取得（工学博士；私立中部大学）、1979年4月ブリヂストンタイヤ入社（現；ブリヂストン）、1984年11月ブリヂストン研究開発本部復職、1991年9月ブリヂストン退社、1991年10月コニカ第四開発センター入社（主任研究員）、1993年4月福井大学工学部客員教授、1993年11月コニカ感材技術研究所主幹研究員、1998年6月同社MG開発センター主幹研究員、2001年8月同社中央研究所所長付主幹研究員、2005年8月コニカミノルタビジネステクノロジー生産本部生産技術センターデバイス技術部第3デバイスグループリーダー、2008年10月同社生産技術センターデバイス技術部担当部長、2009年4月同社開発本部化製品開発センター機能部材開発部担当部長、2011年3月コニカミノルタビジネステクノロジーズ定年退社（57歳）、2011年3月ケンシュー設立 代表取締役社長就任（現在に至る）**【受賞歴】**2000年5月第32回日本化学工業協会技術特別賞受賞、2004年5月写真学会ゼラチン賞受賞（その他ブリヂストンの超高純度BSiC半導体技術が日本化学会化学技術賞受賞）

【活動】高分子学会代議員、高分子同友会開発部会世話人、日本化学会代議員、日本化学会産学交流委員会シンポジウム分科会主査、同委員長、日本化学会春季年会講演賞審査委員長など、共著多数

開催日時	2025年4月4日（金）10：30～16：30	※本セミナーは、 当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。 推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	55,000円（税込） ※資料付 *メルマガ登録者 49,500円（税込） *アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります★【セミナー参加対象者】1.新入社員から技術系管理職まで 2.材料開発担当者 3.製品開発担当者 4.品質管理担当者

【習得できる知識】1. プラスチック再資源化技術の基礎と応用 2.プラスチックが関わるグローバルな環境問題と対策の概要 3. 高分子材料の破壊

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. プラゴミと環境問題概要 1.1 世界の環境問題変遷 1.2 バイオリファイナリー概要 1.3 プラスチック再資源化3つの方法 1.4 日本のプラゴミ処理とサプライチェーン	2.1 メカニカルリサイクル 2.2 中国の再生プラ概況（国際フォーラム報告） 2.3 プラスチックの破壊と劣化概要 2.3.1 破壊力学概論	2.3.2 ワイブル統計 2.3.3 プラスチック・ゴムの破壊力学 2.3.4 プラスチックの劣化 2.3.5 AIによるフラクトグラフィ 2.4 再生プラスチックの寿命 2.4.1 プラスチックの寿命予測法 2.4.2 データサイエンスの活用 2.5 事例：再生PC/ABS（UL94-5Vb合格）の強度 2.5.1 二軸混練機の問題 2.5.2 カオス混合による問題解決	2.5.3 再生プラスチックの難燃化設計 3. PETボトルのリサイクル 3.1PETボトルのケミカルリサイクル 3.2PETボトルのメカニカルリサイクル 3.3 事例：UL94-V2合格 PETの開発 3.4 事例：UL94-5Vb合格 PC/PETの開発 4. プラスチック再資源化における品質管理 4.1 製品のロバスト確保 4.2 信頼性工学 4.3 品質管理活動の実際 5. まとめ
--	--	--	--

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	プラスチック再資源化の現状と問題		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合はO↓	会社名（団体名） 住所 〒	TEL： FAX：	E-mail：
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
氏名	氏名	氏名	氏名
お支払方法	銀行振込 ・ その他	お支払予定	2025年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上FAXまたはE-mail (order_7053@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2025年4月4日（金）開催

プラスチック再資源化の現状と問題

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。